

事業名	景観セミナー開催費		調書番号	92
細事業名	景観セミナー開催費	財務コード	771202	
担当部課室	県土整備 部 県土整備総務 課 景観づくり推進室 担当 (内線)	7124		

事業の概要

実施期間	始期 H17 年度 ~ 終期 年度			
実施主体	県(直営)			
目的	<table border="1"> <tr> <td>だれ(何)を対象に ・県内の事業者、団体、住民、行政職員</td> <td>その対象をどのような状態にして ・生活の快適さにおける風景・景観の重要性について意識をもっている。 ・まちづくりや景観形成などに有用な手法について知っている。</td> <td>結果、何に結びつけるのか ・地域が主体となった良好な景観づくり</td> </tr> </table>	だれ(何)を対象に ・県内の事業者、団体、住民、行政職員	その対象をどのような状態にして ・生活の快適さにおける風景・景観の重要性について意識をもっている。 ・まちづくりや景観形成などに有用な手法について知っている。	結果、何に結びつけるのか ・地域が主体となった良好な景観づくり
だれ(何)を対象に ・県内の事業者、団体、住民、行政職員	その対象をどのような状態にして ・生活の快適さにおける風景・景観の重要性について意識をもっている。 ・まちづくりや景観形成などに有用な手法について知っている。	結果、何に結びつけるのか ・地域が主体となった良好な景観づくり		
内容	<p>事業概要 景観法やまちづくりについて、広く県民に理解してもらい、景観づくりについての意識高揚を図ることにより、地域が主体となった良好な景観づくりを推進するために、県民や市町村職員、景観に係る事業者、まちづくり団体等を対象とする景観セミナーを開催する。</p> <p>平成28年度の実績 東京工業大学大学院准教授 真田純子「これからの農村景観と地域活性化」 平成28年11月16日(水) かいてらす</p>			

事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

区分	指標	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
活動指標	参加人数	目標	250	250	250	250	200	200
		実績(見込)	285	260	200	239	217	201
		達成率	114%	104%	80%	96%	109%	101%
		達成区分	b	b	b	b	b	b
成果指標	アンケート調査結果 「次回参加希望」	目標	90	90	90	90	90	90
		実績(見込)	92	92	96	96	92	92
		達成率	102%	102%	107%	107%	102%	102%
		達成区分	b	b	b	b	b	b
決算(予算) 単位:千円		130	131	131	145	149	150	150

事業の評価(平成28年度の業績評価)

活動指標	b	評価	受講者に対するアンケートによると、99%の人が「よく理解できた」又は「ある程度理解できた」と回答している。次回も参加したいとの意向をもった人は92%であり、景観やまちづくりに関する情報を広めることに寄与したと考えられるとともに、県民の景観づくりへの関心や景観意識の向上の機会となっており、意図した成果はほぼ上げていると考えられる。
成果指標	b		

・「活動指標、成果指標の達成率」から事業の活動量、成果に係る一次評価の考え方を記載すること。
 ・指標がない場合や指標を補足する必要がある場合には、指標によらない成果を用いて記載すること。

見直しの必要性(平成30年度に向けた改善等の考え方)

県関与の必要性	判定	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性が高い <input type="checkbox"/> 必要性がある程度認められる <input type="checkbox"/> 必要性が低い
	説明	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済環境の変化により、当該事務事業が解決すべき課題が増えている、増えることが予想される <input type="checkbox"/> 事業の拡大や充実を求める意見・要望が増えている <input type="checkbox"/> 法令等により、県が実施することが義務づけられている <input type="checkbox"/> 県が実施しないと、県民生活に深刻な影響が生じる <input type="checkbox"/> 民間が実施した場合、現在のサービス水準を維持することが、収益性や技術面で困難である。 その他()
有効性(成果向上)	判定	<input type="checkbox"/> 大幅な成果向上が可能 <input type="checkbox"/> 成果向上が可能 <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上はあまり望めない
	説明	次回も参加したいとの意向を持った人はどの年度も達成率100%を超えており、景観意識を高めるという意図した成果は上げている。
見直しの余地	判定	<input type="checkbox"/> 見直す余地がある <input type="checkbox"/> 見直す余地がある程度ある <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がない
	説明	<input type="checkbox"/> 民間委託や指定管理者制度の活用など事業手法の見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を簡略化・簡素化する余地がある <input type="checkbox"/> サービスの対象、水準、内容を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 実施体制(事業間・組織間の連携や事務分担など)を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 投入したコストに見合った効果が現れておらず、効果向上やコスト削減を検討する余地がある その他()
その他	説明	昨年度、美しい県土づくり推進大会と同時開催を行い、事務プロセスの簡素化を実施済。
見直しの必要性	無	景観まちづくりに対する関心事や必要とされる情報は常に変化しているため、従来からそれらに応じて講演のテーマや内容の見直しを行い、時宜に合った講演を実施していることから、見直しの必要は無い。

見直しの方向(平成30年度当初予算等での対応状況)

現行どおり	説明	
-------	----	--

見直しの方向は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること。見直しが無い場合は「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること。